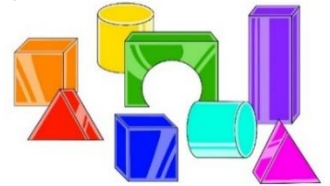




おもちゃの片づけはイヤ



子どもにとって、たくさんのおもちゃを出して散らかすことも楽しい遊びの一部です。例えば、「絵本を並べ」、「電車を置き」、「ブロックを積み上げ」、「牛乳パックを配置して」などと、大人の想像を超える遊びをします。子どもは遊びを通して自由な発想で知的好奇心を育みます。だからこそ、子どもは片づけの時間を嫌がり、難しいと感じて退屈などと思います。このような状況の時に、親が片づけをしてしまうと、子どもは「自分は、片付けはしなくてもよい」と学び、自分で片付けをすることを覚える機会を失います。また、子どもは他人のすることを見て覚えます。家族に片づける習慣がなければ子どもに片づける習慣を身につけることを期待できません。



おもちゃで遊び終わったら、片付けができるように学ぶ必要があります。しかし、子どもは大人のように上手に片づけができるようになるまでには時間がかかります。使ったものを「元の場所に戻す習慣を身につける事」と「きれいに戻すこと」の習得のバランスをみながら教えていきましょう。

子育て技術 **基本ルールをつくる** (子育て手帳 P.32 を参考にしましょう)

子ども自身がどのように行動するか理解するため、親がぶれることのない対応ができるために **家族のルール** があります。守れるように環境を整えて、ルールの内容を考えると成功しやすくなります。

例) 片づけを嫌がる

環境を整える

- 遊びが一区切りするタイミング
- 行動を切り替えしやすい時(外出する時、おやつの時など)
- 子どもの手に届く、出し入れができる棚
- 中身が見える(子どもが理解できる)容器
- 片づける時間を決める(時計やタイマーで知らせる)
- 体調や機嫌が悪い時には手助けをする



ルールの内容

- 子どもが守れそうなルール

✕ ○○しない

○ ○○する

✕使ったおもちゃをそのままにしない

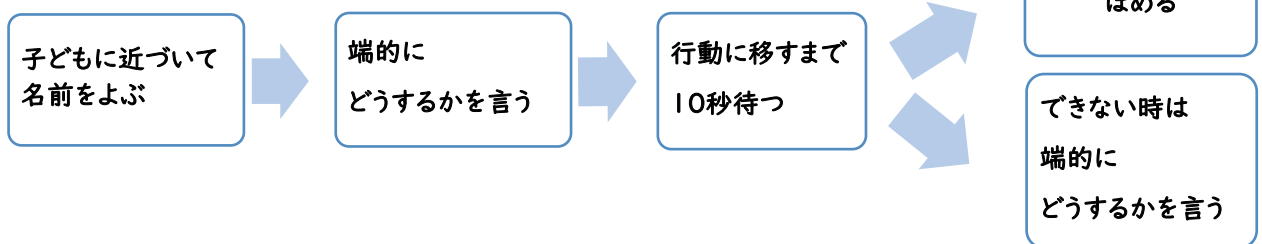
○遊び終わった、おもちゃは箱に入れる



ルールの例	できた時の声かけの例
片づけのタイマーが鳴ったら片づける	「タイマーが鳴ったらすぐに片づけられたね」
遊んだおもちゃは、箱に入れる	「片づけを始めたね」「電車を片づけられたね」など
おやつ時間の前に片づける	「ルールを守って片づけを始めたね」

子育て技術 **はっきりとした、おだやかな指示** (子育て手帳 P.35を参考にしましょう)

子どもには、はっきりと、どうしたら良いかを伝えることが大切です。



例) 子どもの様子を見て「疲れしてる」、「眠そう」、「機嫌が悪い」など気づいた時は、励ましや多くの手助けが必要になります。「たろう君、片づけの時間なので一緒に片づけをしようか、ママは線路を片づけるね～」などと、親が楽しく率先して片づけてみませんか。そして「青い車を片づけられたね、赤い車を片づけられたね」と子どもができた行動を見つけて、ほめながら目標の達成に近づけていきます。

※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568
(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず